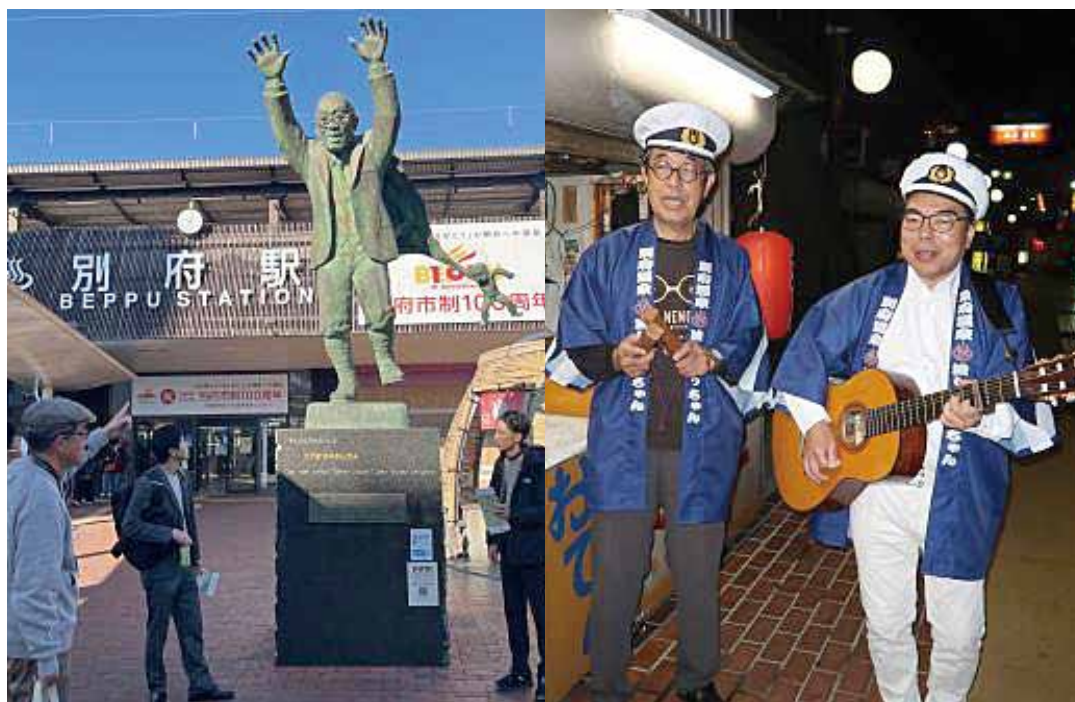


## 5

## 別府八湯ウォーク連絡協議会

～令和6年10月31日(木)訪問～ 【別府市】



別府八湯ウォーク連絡協議会は、別府八湯や市内のおすすめスポット等をボランティアガイドが歩きながら案内する活動を行っている団体が所属する協議会で、平成16年に設立され、令和6年には20周年を迎えます。最初に竹瓦温泉周辺をガイドする「別府八湯竹瓦倶楽部」が発足し、それを契機として徐々に市内全域に広がり、現在ではバラエティに富んだ様々なコースを案内する14の団体が活躍しています。

点在する観光スポットだけでなく、地域の生活空間を住民自らがガイドとしてそぞろ歩く手法は日本初の取組として高く評価され、その後、「長崎さるく」など同様の取組が全国に広がっていきました。

懇談では、協議会の設立までの経緯や取組、今後の課題等についてお聞きしました。各団体の代表の皆さんからは、ガイドコースの街路灯や歩道等の整備、大正・昭和初期に多く建設された別荘等の歴史的建造物の保存・活用、まち歩きガイドをより一層活用してもらうためのPRなどについて、ご意見、ご提案をいただきました。

日本を代表する観光都市である別府市の観光を足元から支える皆さんの活動に感謝を申し上げ、市と連携して、引き続きサポートしていきたいとお伝えしました。



## 関連分野における県の施策(令和7年度)

### ☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

### ☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」

### 【別府八湯】

別府市内8つの代表的温泉地(浜脇、別府、亀川、鉄輪、観海寺、堀田、柴石、明礬)の総称です。これらはもともと独立した温泉場として栄え、古いものは8世紀初めに遡る歴史を持ちます。それぞれ泉質や温度が異なるほか、その風景も独特の趣があり、88湯を巡り「スパポート」と呼ばれるスタンプ帳に押印して温泉道名人を目指す「別府八湯温泉道」も多くの方が参加する人気の企画となっています。